

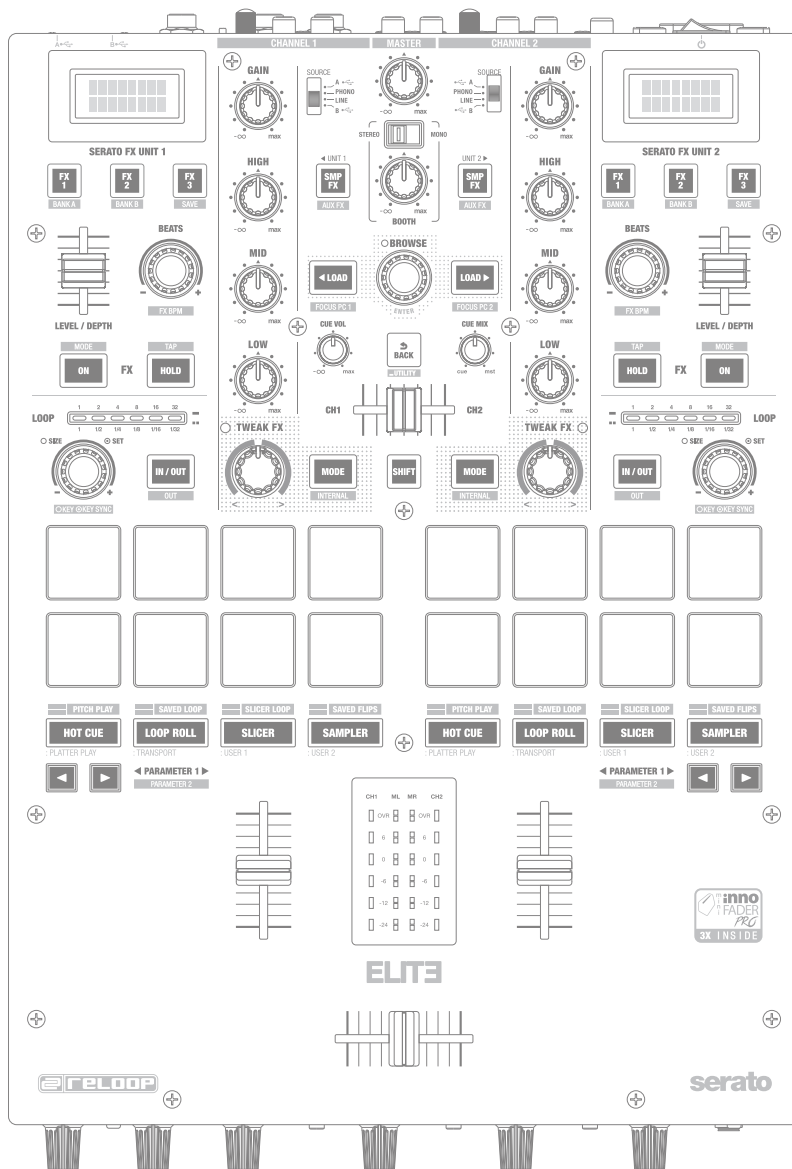
取扱説明書

注意！

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。この製品は、ヨーロッパと国家規制要件に準拠しており、適合が証明されています。それぞれの声明と文書はメーカーに保管されています。

ELITE

HIGH PERFORMANCE DVS MIXER FOR SERATO



警告！

火災や感電を防ぐため、装置を水や液体にさらさないでください！
また、本体は分解しないでください！

安全にご使用いただくために	3	SAMPLER モード	10
規則に従った使用方法について	3	PITCH PLAY モード	10
メンテナンス	3	SAVED LOOP モード	10
1. 概要	4	SLICER LOOP モード	10
1.1 グラフィック	4	SAVED FLIPS モード	10
トップパネル	4	エフェクト・セクション	10
前面	5	4.2 ドライバー・インストール	10
背面	5	4.3 接続	10
1.2 各部の名称	5	5. 技術仕様	11
A Serato DJ Pro エフェクト・セクション	5	テクニカルサポートについて	11
B ミキサー・セクション	5	Dirigent へのご登録方法	11
C ループ・セクション	5	Dirigent カスタマーサポート	11
D パフォーマンスモード・セクション	5		
E ナビゲーション・セクション	5		
F フロント・コントロール・セクション	5		
G 接続	5		
1.3 ELITE の接続例	6		
LINE 信号	6		
PHONO 信号	6		
マイク	6		
ヘッドフォン	6		
マスター出力	6		
モニター出力	6		
REC 出力	6		
AUX 入力	6		
電源入力	6		
USB 接続	6		
RP-8000 MK2 / USB コントローラー接続	6		
2. 操作方法	7		
電源の投入	7		
入力信号の選択	7		
ゲイン	7		
EQ (イコライザー)	7		
Tweak FX	7		
ボリュームフェーダー	7		
クロスフェーダー	7		
DJ マイク	7		
モニタリング	7		
マスター・セクション	7		
3. SETUP UTILITY	8		
3.1 メニューの構造	8		
3.2 メニュー項目	8		
MASTER OUTPUT	8		
MASTER LIMITER	8		
FADER SETTINGS	8		
FX FADER CONTROL	8		
USB OUT ROUTING	8		
FILTER RESO	8		
TLKOV R (トークオーバー・レベル)	8		
ISO XOVR (アイソレーター・クロスオーバー)	8		
SHIFT LOCK	8		
VELOCITY SENS	8		
PAD SENS (パッド感度)	8		
MIC BTH (MIC ブース)	8		
MIC LCUT (MIC LOW CUT)	8		
LED BRGHTNSS	9		
AUX GAIN	9		
LED CHECK	9		
FACTORY RESET	9		
FIRMWARE UPDATE	9		
ABOUT	9		
EXIT	9		
4. Serato DJ Pro DVS コントロール	9		
4.1 機能	9		
ナビゲーション・セクション	9		
ループ・セクション	9		
パフォーマンス・モード・セクション	9		
HOT CUE モード	9		
LOOP ROLL モード	9		
SLICER モード	9		

この度は「Reloop ELITE」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。

本製品をご使用の前に、すべての項目をお読みいただき内容に従ってください。

また、最初に本製品を梱包から取り出した際に、破損や欠品がないことをご確認ください。
もし、電源ケーブルや外装に損傷があった場合は、直ちに使用を中止し、お求めの販売店ご連絡ください。

安全にご使用いただくために

注意！電源ケーブルを取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

1. 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。
2. 安全性と認可（CE）の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。
3. 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
4. ヒューズは、同じ定格のヒューズと交換しなければなりません。
5. 本製品を完全にセットアップしたあとに、電源を供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続してください。製品に電源ケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。
6. 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
7. 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
8. ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。
9. 安定した電源共有を得るには、電源ケーブルをコンセントに直接接続するか、電源ディストリビューターなどに接続してください。
10. 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品をコンセントから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。
11. 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
12. 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。
13. 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
14. 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。
15. 極端な高温（35℃以上）、または極端な低温（5℃以下）で本製品を使用しないでください。直射日光、ラジエーター、オープン（閉じられた車内も含みます）などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。
16. 本製品は、暖かい環境から冷えた環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。
17. コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないでください。
18. 本製品の操作を開始するときに、アンプのフェーダーやボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。パワード・スピーカーの電源スイッチは「オフ」であることを確認してください。一時的な影響で起こる場合のあるショットノイズよりスピーカー等の機器の破損を避けるために8～10秒間程度待ってからボリュームを上げてください。
19. 本製品の操作を開始するときに、アンプのフェーダーやボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。
20. 電気が供給される本製品は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様のいる環境下でのご使用には十分ご注意ください。
21. 商業的な施設では、管理者や責任者によって定められた事故防止の規則を遵守しなければなりません。
22. 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任のもとで監視する必要があります。
23. 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

規則に従った使用方法について

1. 本製品は、オーディオ信号を入力、ミキシングするためのDJミキサーです。本製品は、入力ソースとオーディオケーブルで接続されなければなりません。
2. 本製品は、付属の電源アダプターを介して100～240V、50/60HzのAC電源に接続するために認可されており、室内使用専用で設計されています。
3. 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用する際、製品に損害が起こる場合があります。その場合は保証の対象外となります。また指定した目的に準拠しない使用方法では、回路のショートや火災、感電などの危険を伴う場合があります。
4. メーカーによって定められたシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

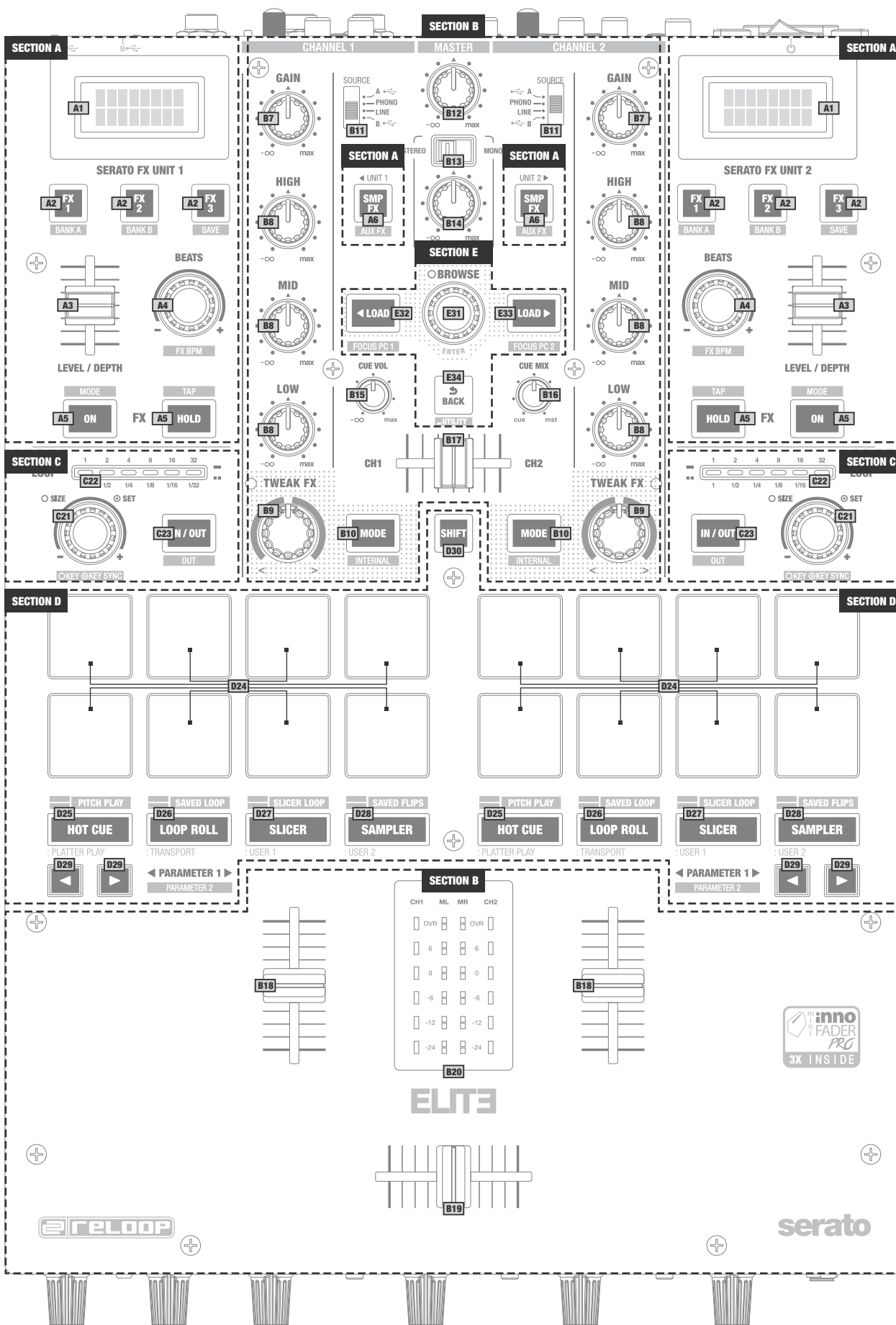
メンテナンス

1. 定期的に、電源ケーブルまたはケースへの損傷、ならびに本体のパーツ（ノブ、スライダーやフェーダー）、製品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
2. 安全な操作が可能ではないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用を中止し、安全を確保してください。必ず電源プラグをアウトレットから外してください。
3. 本製品が、好ましくない状況下、または輸送や長期間の保管により機能していない、または目に見える欠陥を負った場合は、安全な操作は不可能と仮定しなければなりません。

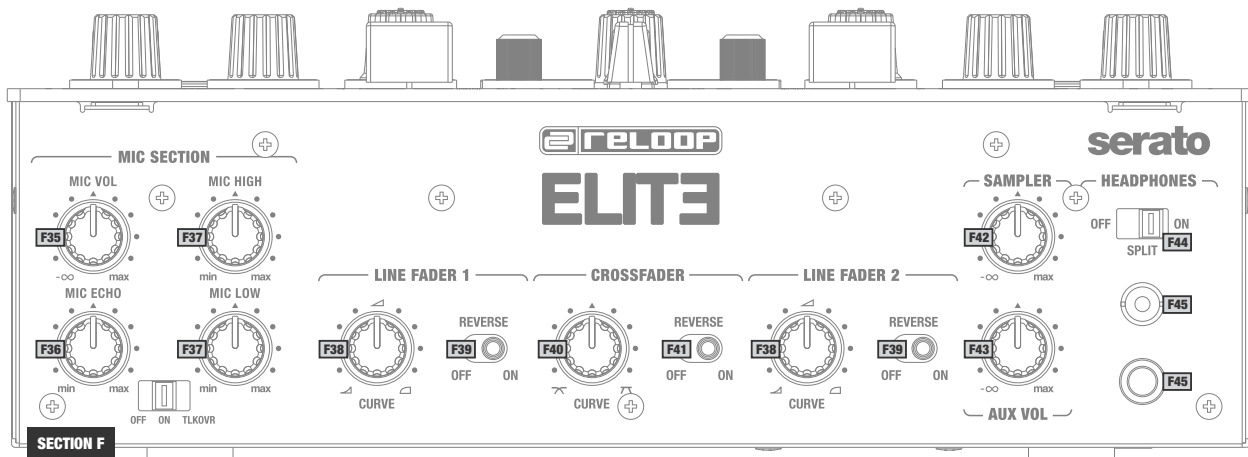
1. 概要

1.1 グラフィック

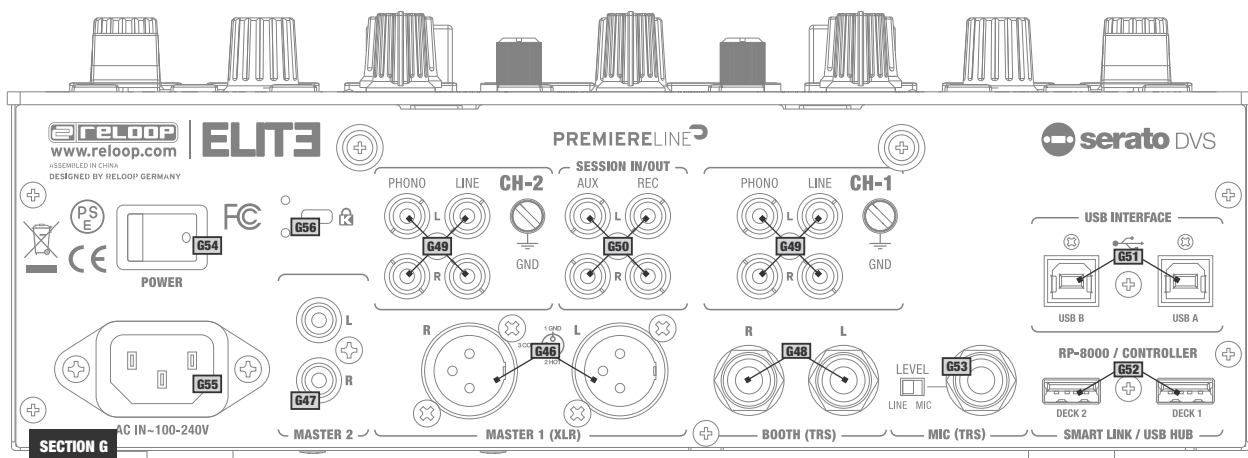
トップパネル



前面



背面



1.2 各部の名称

- A Serato DJ Pro エフェクト・セクション**
 B ミキサー・セクション
 C ループ・セクション
 D パフォーマンスモード・セクション
 E ナビゲーション・セクション
 F フロント・コントロール・セクション
 G 接続 (コネクション)

- A Serato DJ Pro エフェクト・セクション**
 A1. FX ディスプレイ
 A2. FX セレクト・ボタン
 A3. FX レベル / デプス・スライダー
 A4. ビートレングス・セレクト・エンコーダー
 A5. FX ON/OFF ボタン
 A6. サンプラー / AUX-FX ON/OFF・ボタン

- B ミキサー・セクション**
 B7. ゲイン・ノブ
 B8. 3 バンド EQ
 B9. Tweak FX ノブ
 B10. Tweak FX モード・ボタン
 B11. インプット・セレクト
 (USB A / PHONO / LINE / USB B)
 B12. マスター・ボリューム
 B13. ブース・Mono/Stereo 切り替えスイッチ
 B14. ブース・ボリューム
 B15. ヘッドフォン・ボリューム
 B16. CUE MIX ノブ
 B17. CUE チャンネル・セレクト
 B18. チャンネル・ラインフェーダー
 B19. クロスフェーダー
 B20. レベル・メーター

- C ループ・セクション**
 C21. ループ・エンコーダー
 C22. ループ・レングス・インジケーター
 C23. マニュアル・ループ・ボタン

- D パフォーマンスモード・セクション**
 D24. パフォーマンス・パッド
 D25 - 28. パフォーマンスモード・ボタン
 D29. パラメーター・コントロール・ボタン
 D30. SHIFT ボタン

- E ナビゲーション・セクション**
 E31. ナビゲーション・エンコーダー
 E32 / 33. LOAD ボタン
 E34. BACK ボタン

- F フロント・コントロール・セクション**
 F35. マイクボリューム・ノブ
 F36. マイク・エフェクト / エコー・ノブ
 F37. マイク EQ (High / Low)
 F38. ラインフェーダー・カーブ調整ダイヤル
 F39. ラインフェーダー・リバース・スイッチ
 F40. クロスフェーダー・カーブ調整ダイヤル
 F41. クロスフェーダー・リバース・スイッチ
 F42. サンプラー・ボリューム・ノブ
 F43. AUX ボリューム・ノブ
 F44. ヘッドフォン・スプリット・スイッチ
 F45. ヘッドフォン出力

- G 接続**
 G46. マスター出力 (XLR)
 G47. マスター出力 (RCA)
 G48. ブース出力 (標準フォン TRS)
 G49. LINE / PHONO 入力 (RCA ピン)
 G50. セッション入出力
 (AUX 入力 / REC 出力・RCA ピン)
 G51. USB 端子 (Type B)
 G52. USB ハブ端子
 (RP-8000 MK2 / MIDI コントローラー
 接続 USB 端子・Type A)
 G53. マイク入力 (LINE / MIC 切替・TRS)
 G54. 電源オン / オフ・スイッチ
 G55. 電源ケーブル入力端子
 G56. Kensington Lock

1.3 ELITE の接続例

LINE 信号

ライン信号（CD プレーヤー、テープデッキ、DJ コントローラー / オーディオインターフェイスなど）の音源ソースは、CH1/2 の LINE 入力 [G49] に接続します。

PHONO 信号

PHONO 信号（ターンテーブルなど）の音源ソースは、CH1/2 の PHONO 入力 [G49] に接続します。アース線は、GND に接続します。

マイク

MIC (TRS) [G53] に接続します。マイクの出力レベルに合わせて「LINE」または「MIC」を選択してください。

ヘッドフォン

ヘッドフォン出力 [F45] に接続します。

マスター出力

サウンドシステムに音声を出力する場合は、マスター出力 RCA [G47] またはマスター出力 XLR [G46] に対応するケーブルを接続します。

モニター出力

モニターシステムに音声を出力する場合は、ブース出力 [G48] に対応するケーブルを接続します。

REC 出力

録音機器に音声を出力する場合は、REC 出力 [G50] にケーブルを接続します。REC 出力の音声はマスター出力とは独立した安定した音声です。

AUX 入力

外部オーディオ機器（CD ミキサー、コントローラー、テープデッキなど）を接続する場合は、AUX 入力 [G50] にケーブルを接続します。

電源入力

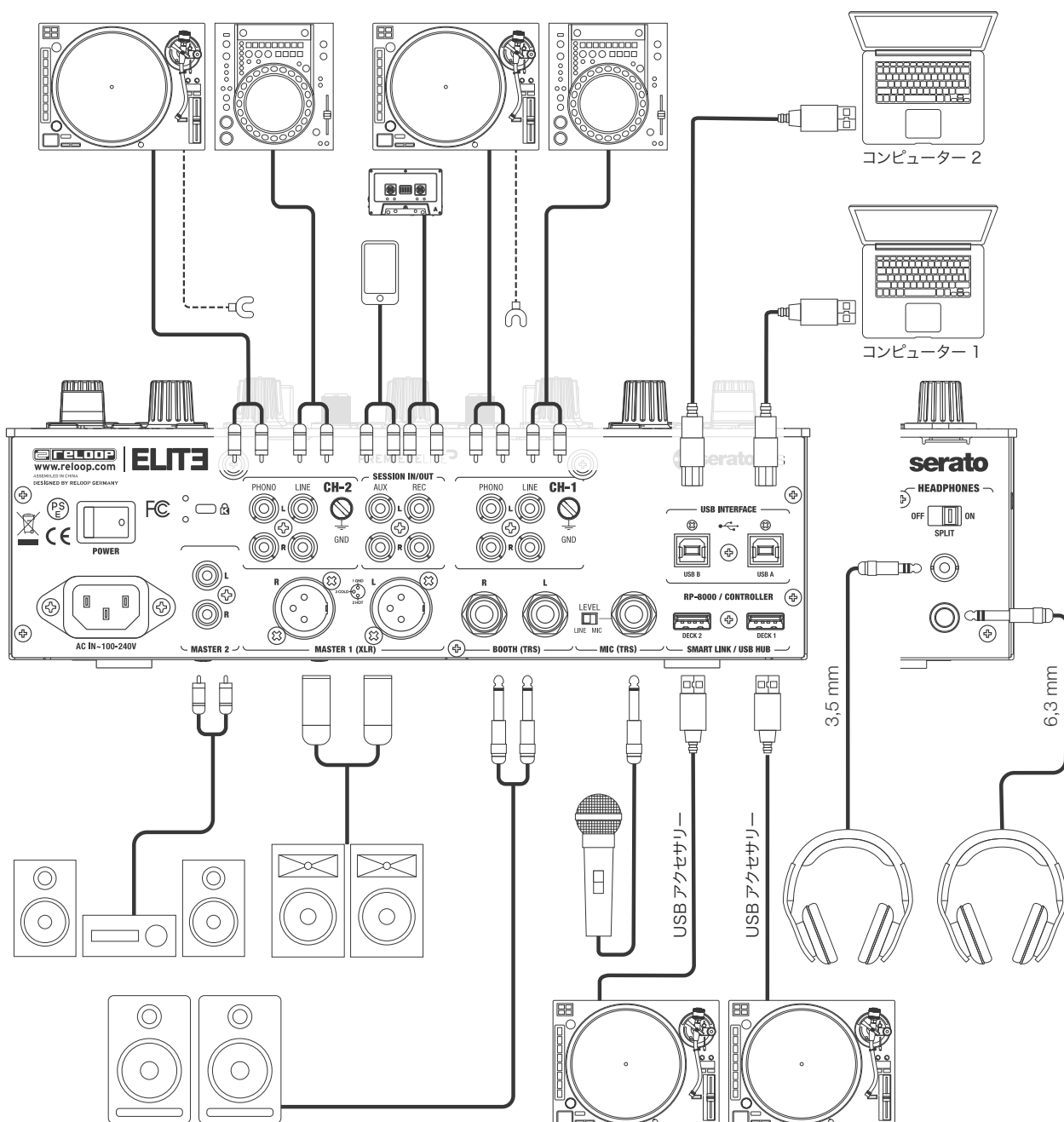
電源ケーブルを電源入力端子 [G55] に接続し、ケーブルのもう片方を電源コンセントに接続します。

USB 接続

コンピューターと USB ケーブル接続する場合は、USB 端子 A / B [G51] に接続します。二つのコンピューターを同時に接続することも可能です。

RP-8000 MK2 / USB コントローラー接続

USB ハブ端子 [G52] に、RP-8000 MK2 ターンテーブルや MIDI コントローラーを接続することができます。



2. 操作方法

電源の投入

すべての接続が完了したら、オン / オフ・スイッチ [G54] を押して、電源を投入します。

入力信号の選択

インプット・セレクト [B11] を使って、チャンネル 1 / 2 に入力するソース (LINE/CD、PHONO、USB) を選択します。

ゲイン

チャンネル 1 / 2 に入力される音源のゲインを調整するには、ゲイン・ノブ [B7] を使います。レベルメーター [B20] の値がグリーン範囲に収まるように調整してください。マイク入力のゲインを調整するには、マイクボリューム・ノブ [F35] を使います。

EQ (イコライザー)

チャンネル 1 / 2 の音質を調整するには、3 バンド EQ [B8] を使います。マイク入力の音質を調整するには、マイク EQ [F37] を使います。

Tweak FX

Tweak FX ノブ [B9] は、ソフトウェアに依存しない ELITE 独自のエフェクトユニットです。Filter、BitCrush、Whitenoise、Flanger の 4 種類を Tweak FX モード・ボタン [B10] を使って選択します。Filter 使用時は、ノブの位置が 12 時の時に効果がゼロになります。

ラインフェーダー

チャンネル 1 / 2 の音量を調整するには、チャンネル・ラインフェーダー [B18] を使います。各チャンネルのボリューム・カーブを調整するには、ラインフェーダー・カーブ調整 [F38] を使います。ダイヤルの位置が 12 時の場合に「リニア (フェーダー位置と同じ)」になります。ラインフェーダー・リバーズ・スイッチ [F39] を使うと、入力された音声のフェーダー値が逆転 (リバーズ) します。

クロスフェーダー

クロスフェーダー [B19] は、チャンネル 1 と 2 の音声のバランスを調整するのに使用します。クロスフェーダーのカーブ調整は、クロスフェーダー・カーブ調整ダイヤル [F40] で行います。反時計回りに回すことで、クロスフェーダーは「シャープ」になり、スクラッチプレイに適するようになります。時計回りへ回すことで、クロスフェーダーは「スムーズ」になり、ロングミックスに適した状態になります。また、クロスフェーダー・リバーズ・スイッチ [F41] を使って、クロスフェーダーの左右の割り当てをチャンネル 1 と 2 で逆にすることができます。

DJ マイク

本体前面のマイクスイッチ (OFF / ON / TLKOV) で、ON を選択すると、ELITE に接続したマイクが有効になります。また、スイッチを TLKOV (Talk Over) に切り替えると、トークオーバー機能が働き、マイクチャンネル以外のすべてのチャンネルの音量が下がります (アクティブ・ダッキング・テクノロジー)。

モニタリング

各チャンネルに入力された音声信号を、予め確認 (モニタリング) する場合は、CUE チャンネル・セレクト [B17] を使ってモニタリングするチャンネルを選択して、ヘッドフォンに送ります。CUE MIX ノブ [B16] を使うと、ヘッドフォンに流れる音声を「マスター」と「CUE」のバランスを調整できます。ヘッドフォン・ボリューム [B15] でヘッドフォンに流れる音声のボリュームを調整します。

マスター・セクション

全体の音声を調整するには、マスター・ボリューム [B12] を使います。レベル・メーター [B20] のインジケーターが黄色の範囲に収まるように調整してください。

ブースの音声を調整するには、ブース・ボリューム [B14] を使います。Mono/Stereo 切り替えスイッチ [B13] を使うと、ブース内の音声のモードをステレオとモノラルで切り替えることができます。

注意：REC 出力の音声は、マスター / ブースいずれのダイヤル値にも影響を受けません。

より詳しい設定は、ELITE の「SETUP UTILITY」の MASTER の項目を参照してください。

3. SETUP UTILITY

3.1 メニューの構造

SETUP UTILITY から、個々のニーズに合わせて基本的なシステム設定を変更できます。SETUP UTILITY にアクセスするには、ELITE の電源を一旦オフにし、SHIFT ボタン [D30] と BACK ボタン [E34] を押しながら本体の電源を入れます。FX ディスプレイ [A1] には「MASTER」と表示され、ナビゲーション・エンコーダー [E31] を回して、様々なメニュー項目にアクセスできます。目的のメニュー項目が見つかったらナビゲーション・エンコーダー [E31] を押して、項目に入り、ナビゲーション・エンコーダー [E31] を回してパラメーターを選びます。BACK ボタン [E34] を押して、前の設定に戻ります。

3.2 メニュー項目

MASTER OUTPUT

ステレオかモノラルかを選択します。ELITE を接続するサウンドシステムがモノラルの場合、すべてのスピーカーに同じ信号と送るため、この項目をモノラルに設定することをお勧めします。

MASTER LIMITER

リミッターは、出力信号を減少させます。

減少させるレベルを、0dB、-3dB、-6dB、-12dB から選択できます。

特定の音量レベルを超えないようにするには、最大出力を予め制限しておくとお便利です。

FADER SETTINGS

クロスフェーダー [B19] とチャンネル・ラインフェーダー [B18] のカットイン設定を、0.0～3.2mm の間で 0.1mm ステップで設定できます。

FX FADER CONTROL

FX レベル / デプス・スライダー [A3] でエフェクト・スロット 1 のみをコントロールするか、またはスロット 1～3 ままで同時にコントロールするかを選択できます。

USB OUT ROUTING

USB 端子を経由してミキサーからコンピューターに送出される信号を設定できます。

USB	Sub Value	Type		MIDI (hex)			Pick-up	
				Channel	Control	Vakue	MIDI Out	Request
OUT 1+2	PHONO Control Tone	SW	CC	N	32	0	X	X
	CD Control Tone	SW	CC	N	32	1	X	X
	CF A	SW	CC	N	32	2	X	X
	CF B	SW	CC	N	32	3	X	X
	MIC	SW	CC	N	32	4	X	X
	Aux	SW	CC	N	32	5	X	X
	Post Fader Deck 1	SW	CC	N	32	6	X	X
	None	SW	CC	N	32	7	X	X
OUT 3+4	PHONO Control Tone	SW	CC	N	32	0	X	X
	CD Control Tone	SW	CC	N	32	1	X	X
	CF A	SW	CC	N	32	2	X	X
	CF B	SW	CC	N	32	3	X	X
	MIC	SW	CC	N	32	4	X	X
	Aux	SW	CC	N	32	5	X	X
	Post Fader Deck 2	SW	CC	N	32	6	X	X
	None	SW	CC	N	32	7	X	X
OUT 5+6	REC OUT	SW	CC	R	7F	0	X	X
	CF A	SW	CC	R	7F	1	X	X
	CF B	SW	CC	R	7F	2	X	X
	MIC	SW	CC	R	7F	3	X	X
	Aux	SW	CC	R	7F	4	X	X
	Post Fader Deck 1	SW	CC	R	7F	5	X	X
	Post Fader Deck 2	SW	CC	R	7F	6	X	X
	None	SW	CC	R	7F	7	X	X

FILTER RESO

フィルターのレスポンス・カーブを調整します。レスポンスを上げるには、パーセント値を大きくします。

TLKOV R L (トークオーバー・レベル)

マイクの入力音声によって信号が減衰するレベルを設定します (-6dB、-12dB、-18dB、-24dB)。

ISO XOVR (アイソレーター・クロスオーバー)

EQ の低音域と高音域のクロスオーバー周波数を調整します。

SHIFT LOCK

SHIFT LOCK がオンの場合、SHIFT ボタン [D30] は一度押すとロックされますので、シフトレイヤーにアクセスするのに、毎回 SHIFT ボタン [D30] を同時に押す必要がなくなります。

VELOCITY SENS

VELOCITY SENS がオンの場合、パッド [D24] はペロシティ感応となります。

PAD SENS (パッド感度)

パッド [D24] の感度を 4 段階で設定できます。「ULTRA」は感度が高くパッドを押す力が少なく済み、「LOW」の場合は、より強い力でパッドを押す必要があります。

MIC BTH (MIC ブース)

ON の場合：マイクの信号もブース出力から送出されます。

OFF の場合：マイク信号はブース出力から送出されません。場合によっては、OFF にすることでフィードバックを防ぐことができます。

MIC LCUT (MIC LOW CUT)

これをオンにすると、マイク信号の 80Hz 以下の周波数がカットオフされます。

LED BRGHTNSS

LED の明るさを 4 段階で調整します。

AUX GAIN

スマートフォンなど比較的出力の低いデバイスを AUX 入力 [G50] に接続した際に、4 段階で増幅できます。

LED CHECK

すべての LED が点灯し、LED の状態を確認することができます。

FACTORY RESET

この項目を実行することで、すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

FIRMWARE UPDATE

ファームウェアのアップデートを実行するには、ELITE の電源をオフにした状態で USB 端子 [G51] を介してコンピューターと接続します。

1. ELITE の電源を一旦オフにし、SHIFT ボタン [D30] と BACK ボタン [E34] を押しながら本体の電源をオンにして、SETUP UTILITY に入ります。
2. ナビゲーション・エンコーダー [E31] を回して、FIRMWARE UPDATE に移動し、エンコーダー [E31] を押してアップデート待機状態にします。
3. ELITE 製品ページから、最新のファームウェアをダウンロードします。
4. ダウンロードしたファイルに含まれる「ReLoopFirmwareUpdateApp.jar」を開きます。
5. 「Open File」をクリックして、最新のファームウェア・ファイル (.bin) を選択します。
6. 「Start >」をクリックしてアップデートを開始します。
7. アップデートが終了したら、ELITE の電源をオフにします。

アップデート手順に不明な点がある場合は、お近くの販売店、またはカスタマーサポートまでご連絡ください。

ABOUT

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

EXIT

設定を保存してミキシングコンソールが起動します。

4. Serato DJ Pro DVSコントロール

ELITE は、Serato DJ Pro と DVS に対応したミキサーで、ELITE 接続時は、Serato DJ Pro と DVS のライセンスを別途購入することなくお使いいただけます。その際、ELITE が正しくコンピューターに認識されていることと、最新の Serato DJ Pro がインストールされていることをご確認ください。

4.1 機能**ナビゲーション・セクション**

ナビゲーション・エンコーダー [E31] を回すことで、プレイリスト・ビューをブラウズできます。LOAD ボタン [E32/33] を押すことで選択したトラックがそれぞれのデッキにロードされます。

(コンピューターが 2 台同時に接続され) 2 つの Serato DJ Pro が ELITE に接続されている状態の場合、ナビゲーション・セクションは、常にどちらか 1 つの Serato DJ Pro にしかアクセスできないようになっていますので、誤ってトラックをロードしてしまうことはありません。SHIFT ボタン [D30] と LOAD ボタン 1 [E32] を押すと、USB 端子 A [G51] に接続しているコンピューターに、SHIFT ボタン [D30] と LOAD ボタン 2 [E33] を押すと、USB 端子 B [G51] に接続しているコンピューターに、それぞれアクセスできます。前述の通り、そのアサインは自動的（または手動で）実行されます。

ループ・セクション

ループ・エンコーダー [C21] を回すと、ループの長さを調整できます。現在のループ長は、ループ・レンジ・インジケーター [C22] に表示されます。ループ・エンコーダー [C21] を押すと、設定したループ長でオートループが設定されます。マニュアル・ループ・ボタン [C23] でマニュアル・ループを設定でき、現在ループが設定されていない場合にこのボタンを一回押すとループのスタートポイントが設定され、ボタンが点滅します。もう一度押すと、ループのエンドポイントが設定され、ループが実行されます。ボタンは点灯状態になります。また、現在ループが設定されている場合は、マニュアル・ループ・ボタン [C23] を押して、ループのスタートポイントを調整できます。エンドポイントを調整する場合は、SHIFT ボタン [D30] と同時にマニュアル・ループ・ボタン [C23] を押します。

Serato DJ Pro では、トラックのピッチを変えることができ、ELITE では、SHIFT ボタン [D30] と同時にループ・エンコーダー [C21] を押して回すと、ピッチが調整できます。SHIFT ボタン [D30] と同時にループ・エンコーダー [C21] を押し続けると、反対側のデッキのピッチに合致します。

注意！：ピッチを調整するには、Serato DJ Pro のエクステンション・パック「Pitch 'n Time DJ」が必要です。

パフォーマンス・モード・セクション

8 つのタッチセンシティブ・パッド [D24] には、異なる 12 のモードを設定することが可能です。

HOT CUE モード：

デッキあたり 8 つのキューポイントをトリガーします。

ホットキューの色は、ソフトウェア側で設定可能で、それに応じてパッド [D24] も点灯します。パラメーター・ノブは、「FLIP」機能（Play、Record、Loop、On/Off）を実行します。

LOOP ROLL モード：

各パッド [D24] を押して、それぞれループ・ロールのオン・オフを切り替えられます。ループ長は、各デッキに、32 分音符～4 小節の範囲で設定できます。

SLICER モード：

スライサーが有効な際、指定されたセクションが 8 つのパートに分割され、これら 8 つのスライスされたパートがそれぞれのパフォーマンス・パッド [D24] に割り当てられます。再生ヘッドがセクションの終わりに達すると、セクションの前方に移動して新たなセクションが設定されます。

SAMPLER モード：

パッド [D24] 1～6 は 6 つのサンプル・スロットをトリガーします。SHIFT ボタン [D30] と同時にそのパッド [D24] を押すと、サンプルの再生を停止します。パラメーター・コントロール・ボタン [D29] で、バンク (A、B、C、D) を切り替えることができます。サンプラー・ボリューム・ノブ [F42] で音量を調整します。

PITCH PLAY モード：

Pitch 'n Time DJ と組み合わせて、異なる音程でキューを再生することができます。PARAMETER 1 ボタン [D29] を押してキーを変更できます。白く点灯しているパッド [D24] を押すと、キューポイントがオリジナルのキーで再生されます。PITCH PLAY モードでは、パッド [D24] を演奏することで、様々な音程でキューポイントが再生されます。別のホットキューポイントを選択するには、SHIFT ボタン [D30] と同時に別のパッド [D24] を押します。

SAVED LOOP モード：

最大 8 ループまで保存できます。各パッド [D24] は、ループ・スロットに対応し、ループを保存するにはオートループに設定し、パッド [D24] スロットを押します。もう一度押すと、ループが削除されます。

ループをトリガーするには、SHIFT ボタン [D30] と同時にパッド [D24] を押します。

SLICER LOOP モード：

SLICER がオンの場合、特定のセクションは均等な 8 つのパートに分割されます。これら 8 つのスライスされたパートは、対応するパフォーマンス・パッド [D24] にアサインされます。再生ヘッドがセクションの終わりに達すると、セクションの先頭に戻り、再びループを再生します。

SAVED FLIPS モード：

最大 8 つの保存されたフリップを表示でき、押すことで有効にできます。SHIFT ボタン [D30] と同時にパッド [D24] を押すと、それぞれのフリップに直接ジャンプして再生します。

エフェクト・セクション

Reloop ELITE は、エフェクト・セクションをチャンネルに割り当てられるので、他のセクションとは独立して使用することができます。左側のエフェクト・セクション 1 はデッキ 1 に、右側のエフェクト・セクション 2 は、デッキ 2 に割り当てられます。この割り当ては変更できません。すべてのエフェクトは、すべて Serato DJ Pro で調整され、エフェクト・センド / リターン・チャンネルを通じてミキサーに送られます。インストールしているエフェクト・バンクに応じて、様々なエフェクトを自由に使用できます。

エフェクト・ディスプレイでは、以下の情報を確認できます。

- マルチエフェクト・モード：スロット 1～3 にロードされた 3 つのエフェクト
- 拡張エフェクト・モード：ロードされたエフェクト
- 選択されたエフェクトバンクの BPM
- エフェクトのビート長

FX セレクト・ボタン [A2] の FX1～3 を押して割り当てられたエフェクトスロットが有効になりますが、すぐに有効になるわけではありません。これらのボタンの一つが点灯している場合、エフェクトは、FX ON/OFF ボタン [A5] を押すことで有効になります。このボタンを押しながらビートレングス・セレクト・エンコーダー [A4] を回すと、使用可能なリストからエフェクトを選択できます。Serato DJ Pro は個々のエフェクト設定を 2 つのプリセットとして保存できます。これを有効にするためには、SHIFT ボタン [D30] と FX1 ボタン [A2]、または SHIFT ボタン [D30] と FX2 ボタン [A2] を押します。SHIFT ボタン [D30] と FX3 ボタン [A2] を押すと、現在のエフェクトバンク A の選択が保存されます。

エフェクトの強さは、FX レベル / デプス・スライダー [A3] で調整できます。また、スライダーの設定は、SETUP UTILITY 内の FX FAER CONTORLで行います。

エフェクトバンクの BPM (通常はロードされたトラックの BPM に準拠します) は、SHIFT ボタン [D30] を押しながら FX HOLD [A5] ボタンをタップすることで手動で設定でき、ディスプレイ [A1] に表示されます。より正確に BPM を設定するには、SHIFT ボタン [D30] を押しながらビートレングス・セレクト・エンコーダー [A4] を回すことで、BPM 値を 1 ずつ調整することができます。

SHIFT ボタン [D30] と FX ON ボタン [A5] を押すと、エフェクトバンクの表示を「Advanced」と「Multi」に切り替えることができます。使用可能なエフェクトルーティング・アーキテクチャーにより、Serato の SAMPLER と AUX 入力のオーディオ信号をエフェクトのルーティングに含めることができます。信号は、ひとつのエフェクトバンクにのみ割り当て可能です。

4.2 ドライバー・インストール

Reloop ELITE は、Mac OS X 用のクラス・コンプライアント・デバイスですが、Windows 用には専用ドライバーが必要です。Serato DJ Pro を使用する前に、ドライバーのインストールが完了していることを確認してください。

- Mac：ドライバーをインストールする必要はありません。

- Windows：Dirigent の ELITE の製品ページからドライバーをダウンロードしてください。

.exe ファイルをダブルクリックしてインストールを開始し、画面の指示に従ってインストールを勧めます。インストール後、ミキサーを必ず再起動してください。

4.3 接続

DVS コントロールにターンテーブルを使用する場合は、チャンネル 1 と 2 の PHONO 入力 [G49] に接続してください。あるいは、CD プレーヤーを使用する場合は、対応する LINE 入力 [G49] にそれらを接続してください。

インプット・セレクト・スイッチ [B11] は、それぞれ、USB A または USB B にセットしてください。

Serato DJ Pro で設定画面を開き、AUDIO で接続されている機器に応じて対応する DVS ソースを選択してください。

PHONO：ターンテーブル

CDJ：CD プレーヤー

カスタム：SETUP UTILITY 内の「USB OUT ROUTING」の設定に応じて、異なる DVS ソース (PHONO と CDJ) を使用することができます。

5. 技術仕様

周波数特性 :	20Hz~20kHz
入力 :	Phono RCA x 2
	Line RCA x 2
	AUX RCA
	マイク / ライン TRS
	スマートリンク USB (Type A) x 2
	USB 端子 (Type B) x 2
出力 :	マスター XLR (バランス)
	マスター RCA (アンバランス)
	ブース TRS (バランス)
	REC RCA (アンバランス)
	ヘッドホン (φ3.5/6.3mm)
EQ レンジ @70Hz、1kHz、13kHz :	-∞dB (トータルキル) /+9dB)
EQ レンジ (マイク) @100Hz、10kHz :	-12dB/+12dB
サイズ :	290 x 414 x 107.5 mm (W x D x H・ノブ高 : 18.5 mm)
重量 :	6kg
付属品 :	DVS エクスパンション・パックを含むフルバージョンの Serato DJ Pro、Serato Control Vinyl x 2 枚、 USB ケーブル、電源ケーブル、取扱説明書

テクニカルサポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

尚、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法 :

Dirigent ユーザー登録ページ (<https://dirigent.jp/regist/>) にアクセスし、Reloop オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート :

メールでのお問い合わせは、ユーザー登録後、下記 Dirigent マイページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Dirigent マイページ・ログイン :

<https://area31.smp.ne.jp/area/p/lbph7lbtir7maofq6/3HYze5/login.html>



Reloop Distribution
Global Distribution GmbH
Schuckertstr. 28
48153 Münster / Germany

Fax +49.251.6099368

Technische Änderungen vorbehalten.
Alle Abbildungen ähnlich.
Keine Haftung für Druckfehler.

Subject to alterations.
Illustrations similar to original product.
Misprints excepted.

Reservado el derecho para realizar modificaciones técnicas.
Todas las imágenes son similares.
No se asumirá la responsabilidad por errores de impresión.

Sous réserve de modifications techniques.
Toutes les illustrations sont similaires.
Aucune responsabilité pour les erreurs d'impression.

Copyright 2019

Dirigent

株式会社銀座十字屋ディリгент事業部
dirigent.jp